

# ヨシナカ新聞

桃の節句

三月三日は桃の節句、ひな祭りの由来は中国から伝わった「五節句」という行事のひとつ「上巳」。季節の節目を意味する「節」のころは、昔から邪気が入りやすいとされてきました。五節句のひとつ上巳には、中国では川で身を清める習慣がありましたが、日本では紙などで作った人形で自分の体を撫でて穢れを移し川に流すことで邪気を祓いをする行事として広がっていききました。人形を流して邪気をはらうこの風習が、現在でも残るひな祭りの行事「流し雛」のルーツと言われています。

「上巳」が広まる頃、平安時代の貴族の子どもにあいだ「雛あそび」とよばれる現在のままごとに近い人形遊びが流行していました。この「ひな」は「雛」とは、小さくてかわいらしいものという意味があるので、「ひな」という人形遊びと「上巳」が結びつき今の「ひな祭り」の原型になったと考えられています。

## 商品名の由来

商品名の由来を幾つか紹介します。

### ●日清焼きそばU・F・O

「U・F・O」は未確認飛行物体を意味しているのでしょうか？。答えは×で、U=うまい、F=太い、O=大きいという、商品のアピールポイントの頭文字をとったものだそうです。商品が開発された当初はなかなか名称が決まりませんでした。フタをフリスビーのように投げてみたところ、飛んでいる様子が当時ブームになっていたUFOに似ていたことから

ら発案されたということだそうですので、未確認飛行物体とまったく無関係というわけでもないようです。

### ●じゃがりこ(カルビー)

「じゃが」はご想像通り、「じゃがいも」からきています。「りこ」は、開発担当者の友人「りかこ」さんが、この新しくできたお菓子をとても美味しそうに食べている姿から取ったのだそうです。つまり、「じゃがいも」+「りかこ」で「じゃがりこ」となりました。

### ●おととと(森永製菓)

ある日の飲み会で社員がお酒

をつがれた時に「おととと」と口にし、その語感のインパクトと、魚を表す「と」とかけて名付けられたそうです。

### ●伊右衛門(サントリー)

ペットボトルの緑茶でコンビニエンスストアでのシェアNo.1を誇り、『IYEMON CHA』としてサンフランシスコでも販売されている「伊右衛門」。この「伊右衛門」は、京都の老舗茶舗である「福寿園」との共同開発された物です。その福寿園の創業者の名前が『福井伊右衛門』だったことに由来しているそうです。

3月号  
発行所  
株式会社ヨシナカ  
東京営業所  
TEL: 03-3555-0796

## 伯備線

鉄道写真の撮影を趣味としている



大阪工場のMさんが撮影された写真は、これまでヨシナカ新聞にも幾度か紹介させていただきましたが、今回新たに写真を提供いただきました。

JR伯備線の岡山（岡山県）—米子（鳥取県）—出雲市（島根県）間を結ぶ特急やくもに2024年春以降、新型電車273系が投入されることが決まり、それに伴って現在定期運行している特急車両としては本州で最も古い旧国鉄時代の特急用電車381系が引退するというので、降りしきる雪の中、撮影されたそうです。

本当は雪晴れを撮りたかったのですが、個人的にはとても幻想的で、映画のシーンに出て来そうな風景で心に沁みました。雪が容赦なくレンズを襲い、撮影は大変だったそうですが、それだけに思い出に残る撮影

になったことでしょう。



## 特殊鋼豆知識

### 炭素工具鋼は熱に強くない

SK材は一般的に加工前または加工後に熱処理を行うこととなります。ただし、SK材の難点としては高温になると焼きが戻ってしまい、硬さが低下する点が挙げられます。

性質を下げずにSK材の使用に耐える温度の目安は200℃となりますので、

熱の発生がさほど見込まれない部品や機材、あるいはハンマーやのこぎりのような人が手を用いて使用する工具材料に適しています。

なお、SK材が適さない高温になる箇所の部品や工具として用いる材料としては、合金鋼であるSKH材（高速工具鋼）などを選択します。SKH材は600℃まで使用が可能ですので、あ

る程度の高温の環境にも耐えられます。

